

2019年6月14日

各 位

当社取締役会の実効性評価の結果について

日産化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：木下小次郎）は、5月23日開催の取締役会において、2018年度の実効性評価（以下、実効性評価）の結果について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 取締役会の実効性評価について

当社は、2015年度から実効性評価を毎年実施しており、実効性評価の中立性、客観性を確保するために、数年毎に、当社と利害関係のない外部機関を活用した第三者評価を実施することとしております。第三者評価は直近では2017年度に実施しており、2018年度における実効性評価は、当社取締役会が自己評価を行う「自己評価」方式で実施しました。

評価手法は、すべての取締役および監査役が回答するアンケート形式であり、5段階評価と自由記述を組み合わせることで、定量的評価と定性的評価の2つの側面から、現状の把握と課題の抽出を図りました。なお、質問票の回収および集計を外部機関に委託し匿名性を確保することで、自己評価の充実を図りました。

質問票の回答結果を踏まえて、2019年3月に行われた意見交換会（独立役員全員（社外取締役2名と社外監査役1名）、社長、副社長、取締役経営企画部長および常勤監査役1名）で課題・対応策について議論および分析・評価を行いました。

2. 実効性評価の結果の概要

当社の取締役会は、その主要な役割・責務を果たしているという観点からは、全体として概ね適切に運営されていること、2017年度の実効性評価で認識された課題に基づく改善策も概ね実施されていることから、実効性は確保されていると評価、確認しました。

3. 今後の取り組みについて

今回の議論を通じ、さらに取締役会の実効性を高めていく観点から、以下の事項を課題として認識し、改善に取り組むことを確認しました。

- (1) 指名・報酬諮問委員会（2019年4月1日設置）を活用しながら、以下について検討する。
 - 1) 会社業績を適切に経営陣の報酬・人事に反映させるための仕組みをつくる。
 - 2) 経営陣幹部の後継者計画の策定・運用に主体的に関与し、後継者候補の育成を適切に監督するとともに、その他の取締役および執行役員を含めた育成計画を説明、議論する場を設ける。
- (2) 限られた時間内で決議事項の審議を深めるために、取締役および監査役に対する事前の情報提供および情報の共有化の更なる工夫により、各取締役、監査役が十分な時間をかけて検討できる仕組みづくりを検討する。
- (3) 取締役会で承認された投資案件については、定期的にその投資効果を検証し、その検証結果

を取締役会で報告する仕組みづくりを検討する。

今回の評価結果を踏まえ、取締役会の議論をさらに深めるとともに、今後も実効性を高める施策を実行、その改善状況を実効性評価で定期的に把握し、取締役会の実効性の更なる向上を図り、持続的成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室 (東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング) TEL:03-4463-8123 E-mail : csr_pr@nissanchem.co.jp